

令和4年度  
島根県ものづくり産業エネルギーコスト削減対策緊急支援事業補助金  
公募要領

島根県産業振興課

## 1. 目的

本補助金は、エネルギー価格高騰の影響を受けている県内製造業者が取り組むエネルギーコスト削減効果が高い設備投資等の導入に要する経費に対して、補助金を交付することにより、県内製造業の経営基盤強化を支援し、もって競争力強化を図ることを目的とする。

## 2. 補助対象者

本補助金の交付対象者は、次に掲げる要件の全てを満たす者とする。

- (1) 県内に主たる事業所を有する中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条に定める中小企業者のうち、製造業者。但し、次のいずれかに該当する者（みなし大企業）は除く。
  - ア 発行済株式の総数又は出資価格の総額の2分の1以上を同一の大企業が所有している中小企業者
  - イ 発行済株式の総数又は出資価格の総額の3分の2以上を大企業が所有している中小企業者
  - ウ 大企業の役員又は職員を兼ねている者が役員総数の2分の1以上を占めている中小企業者
  - エ 発行済株式の総数又は出資価格の総額をア～ウに該当する中小企業者が所有している中小企業者
  - オ ア～ウに該当する中小企業者の役員又は職員を兼ねている者が役員総数の全てを占めている中小企業者
- (2) エネルギー価格高騰の影響を受けていること
- (3) 要綱別紙「暴力団排除に関する誓約事項」のいずれにも該当しないこと
- (4) 島根県税の未納の徴収金がないこと

## 3. 補助対象事業、補助率等

### (1) 補助対象事業

本補助金の補助対象事業は、次に掲げる要件の全てを満たす事業とする。

- ア 別表に定める対象設備等を導入し、現状よりもエネルギーコスト削減に繋がる

取組であること（エネルギーコスト削減に繋がることを合理的に示すこと）

※新增設の場合は、炭素生産性\*<sup>1</sup>の向上に繋がることを合理的に示すこと

\* 1 炭素生産性=付加価値額\*<sup>2</sup> / CO<sub>2</sub>排出量

\* 2 付加価値額=営業利益+人件費+減価償却費

イ 事業の継続に必要であること（取引の確保・継続等の面から緊急性があること等）

ウ 同一事業において、国又は県からの他の補助金等の交付を受けていないこと

エ 令和4年度ものづくり産業エネルギーコスト削減対策緊急支援助成金（しまね産業振興財団）の交付を受けていないこと

#### 別表 対象設備等

項目	説明	補助率及び補助限度額
ユーティリティ設備	工場、プラント機器の稼働運転・維持に必要な工業用水、燃料、蒸気、温水等を供給する設備	補助対象経費の <u>1</u> / <u>2</u> 以内 (小規模事業者* <sup>3</sup> は <u>2</u> / <u>3</u> 以内)
生産設備	生産に必要な設備	
EMS (エネルギーマネジメントシステム)	施設内の使用電力の「見える化」や使用電力を自動的に監視、制御するシステム	補助上限額 <u>500</u> 万円 補助下限額 <u>40</u> 万円
断熱塗装 (遮熱塗装)	工場、事務所、倉庫等事業用施設に実施するもの	* 3 小規模事業者(製造業)は従業員 20 名以下の事業者

#### (2) 補助対象経費

補助対象経費は、対象設備等の導入に要する経費（導入する設備等の稼働等に不可欠な経費）とする。

#### 4. 補助事業期間

補助事業期間は、交付決定日から令和6年2月29日までの間とする。

交付決定日よりも前に行った事業については、補助金の対象となりません。

ただし、事前着手申請制度により承認を受けた場合は、令和5年1月31日以降の契約等が補助対象になります。事前着手申請制度の詳細は、「9. 事前着手申請制度」をご確認ください。

## 5. 申請手続き等

### (1) 公募締切

公募締切は、令和5年2月28日(火) 17時必着です。

公募締切後、書面審査のうえ、予算の範囲内で採択します。申請をご検討されている場合は、お早めに申請いただきますようお願いいたします。

### (2) 申請方法

申請書類は、所定の様式(様式第1号。交付申請書)に必要な事項を記載し、必要な添付書類と併せて、郵送・持参・メールのいずれかの方法で申請窓口へ提出してください。

- ・上記締切日時必着となりますので、ご注意ください。
- ・書類不備等があった場合、申請受付できない可能性もありますので、期日に余裕をもってご提出ください。
- ・交付申請手続きにおいて提出する書類は、必ず控えをとって手元に保管してください。
- ・メールにより提出される場合も、原本での提出が必要な書類については、別途、郵送や持参による原本の提出をお願いします。

<原本での提出が必要な書類>未納滞納がないことの県税納税証明書(発行から3か月以内のもの)

- ・郵送・持参により提出される場合も、エクセルデータでの提出が必要なものについては、別途、メール等によるデータ提出をお願いします。

### (3) 申請書類及び提出方法

申請書類に以下に示す添付書類を添付し、下記「8. 提出先」へ提出してください。

なお、作成方法等について、ご不明な点がございましたら、下記「8. 提出先」までお問合せください。

#### <添付書類1(共通)>

提出書類	提出方法
(1) 事業計画書	エクセルデータ
(2) 会社パンフレットなどの会社概要がわかる資料	紙又はデータ
(3) 直近2期分の決算書 ※法人の場合、貸借対照表、損益計算書、製造原価報告書、販管費内訳書、個別注記表 ※個人事業主の場合、所得税青色申告決算書の写し	紙又はデータ
(4) 島根県税に係る納税証明書 ※発行から3か月以内で、全科目において未納の徴収金がないことを証明できるもの	紙(原本)

(5) (参考様式) 削減率計算用又は類似資料	エクセルデータ
(6) 5の根拠となる資料 ※電力以外の動力がある場合は、(参考様式) エネルギー消費原単位改善率計算用	紙又はデータ
(7) 現況写真 (設備設置予定場所の写真)	紙又はデータ
(8) 設備の性能に関する資料 (仕様書、カタログ等)	紙又はデータ
(9) 見積書 (カタログ等価格のわかる資料でも可)	紙又はデータ
(10) 補助金支払先口座登録	紙又はデータ
(11) 【該当する場合のみ】 パートナーシップ構築宣言登録企業であることがわかるもの	紙又はデータ

なお、設備新增設の場合は、添付書類1 (上記1～11) に加え、添付書類2 (以下12～14) についても追加提出をお願いします。

#### <添付書類2 (新增設の場合のみ)>

提出書類	提出方法
(12) (参考様式) 炭素生産性計算書	エクセルデータ
(13) (参考様式) エネルギー消費原単位改善率計算用	エクセルデータ
(14) (参考様式) エネルギー起源二酸化炭素排出量計算用	エクセルデータ

## 6. 審査等

書面審査の手続きを経て、採否が決定した場合、交付決定を行います。

この際、書面審査により、計上された対象経費が補助対象として認められないと判断される場合、交付決定額が減額となる場合があります。

なお、採択事業については、採択者名、補助事業概要等をホームページ等で公表する場合がありますので、ご承知おきください。

また、採否についてのお問合せは一切受け付けませんので、予めご了承ください。

#### <審査基準>

次に掲げる基準に基づき評価し、得点の高いものから採択を行います。

- ・エネルギーコストの経営への影響度
  - ・エネルギーコストの削減効果 (新增設の場合は投資効果)
  - ・その他 (取引の確保・継続等の面からの緊急性、パートナーシップ構築宣言の登録など)
- ※パートナーシップ構築宣言登録企業の場合、加点措置があります。パートナー構築宣言の概要、登録方法等の詳細については、パートナーシップ構築宣言ポータルサイト (<https://www.biz-partnership.jp/>) をご確認ください。

## 7. 交付決定後の手続き

交付決定についての通知があった場合、交付決定の日付以降、事業を開始していただいても構いません。

補助金の手引きの内容をご確認いただき、事業を進めてください。

## 8. 申請書提出先、お問合せ

島根県商工労働部産業振興課（県庁本庁舎 2 階） 電話 0852-22-6348 メール mono-ene@pref.shimane.lg.jp
--------------------------------------------------------------------------------

## 9. 事前着手申請制度

本制度においては、早期の事業着手及び事業期間確保の観点から交付決定前（令和 5 年 1 月 31 日以降）の事業着手（契約締結等）について、補助対象経費として認める事前着手申請制度があります。

必要な場合は、あらかじめ、事前着手申請様式によりお手続きをお願いします。

- ・申請後、結果の通知には時間を要する場合があります。
- ・令和 5 年 1 月 31 日以前に行われた購入契約の締結等については、補助対象経費として認められません。
- ・交付決定以降に事業開始される場合は、事前着手申請は不要です。
- ・交付決定前に事前着手が承認された場合であっても、補助金の採択を約束するものではありません。
- ・事前着手の承認を受けた場合であっても、交付申請手続きは必要となります。
- ・事前着手承認後に発注を行った経費であっても、交付申請時に当課にて申請経費の内容等を精査した結果、補助対象とならない場合がありますので、あらかじめご了承ください。